

今週の

いきもの広場

① エノキハムシの幼虫



エノキの葉を食べる虫、という名前の通り幼虫はエノキの葉で見つかります。食べ痕のある葉のまわりを探してみましょう。

② ミツボシキリガの幼虫



円内の写真のように、エノキの葉をふたつおりにした巣を作り、中にひそんでいます。エノキの葉を食べ、40mmほどにまで成長します。

③ エノキトガリタマバエの巣



しずくの形をした虫こぶの中には、タマバエの卵がひとつずつ生みつけられています。この後、虫こぶは地面に落ち、来年の春に羽化するまで幼虫は虫こぶの中で生活します。

④ カブトムシの幼虫



昨年秋に卵からふ化した幼虫は、土の下で冬を越し、春を迎えます。この後、6月頃にはさなぎになり、夏には成虫が見られるようになります。

⑤ ニホンカナヘビ



植物や石の上でひなたぼっこをする姿がよく見られます。広場ではヒガシニホトカゲもよく見られますが、見分けるポイントは体の表面がざらざらしている点です。

⑦ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



3月おわり頃に卵からふ化しました。後ろ足が生えてきているオタマジャクシも見かけます。いよいよ5月中には上陸する見込みです。

⑥ クロスジギンヤンマのヤゴの抜け殻



池で冬を越したヤゴが近くの枝につかまって羽化したらしく、抜け殻が残っていました。秋に池を飛びまわっていたクロスジギンヤンマと思われます。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。5月、冬を越したいきものと今年生まれのいきもので広場はにぎわっています。

